



GIFU UNIVERSITY

2024 CAMPUS GUIDE

令和6年度 岐阜大学 学生生活ガイド





岐阜大学と名古屋大学は2020年（令和2年）4月から法人を統合し、新たに発足した国立大学法人東海国立大学機構として、両大学が連携して教育研究等活動に取り組んでいます。

コロナ新時代では、地域と世界は時間的にも空間的にも距離が短縮され、地域での躍進は同時に世界での活躍に通じます。岐阜大学は、知と人材を集積して世界をリードすると共に、地域社会、自治体や企業等と密接に連携し、教育・研究・社会連携・国際化を通じて東海地域の未来型社会への転換を先導する役割を担っています。

東海国立大学機構としても、両大学の特性を生かし、国際競争力を高めより一層の地域貢献を行う国立大学法人として、国際通用性のある質の高い教育を実践し、東海地域をはじめ国内外で活躍する次世代を担うリーダーとなり得る人材を育成することを目指します。

岐阜大学長 吉田和弘

岐阜大学の理念と目標

——— 学び、究め、貢献する岐阜大学

理念

清流の国と称され豊かな自然に恵まれた岐阜の地では、東西文化が接触する地理的条件や歴史を背景に多様な文化が育まれるなか、新たな技術・技能が創造され、脈々と伝承されてきた。国立大学法人東海国立大学機構・岐阜大学は、このような岐阜の地の特性を継承するとともに、洗練された「人が育つ場」の中で、社会を牽引し、未来を創造しうる「学び、究め、貢献する」人材の輩出を使命とする。また、岐阜大学は、全ての学部・研究科が1つのキャンパスにある特徴と、同一法人を構成する名古屋大学との連携を教育・研究の両面に活かし、特に、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開する。さらに、これらの成果を地域還元することにより、「地域活性化の中核拠点」を目指す。

目標

1. 教育

社会を牽引し、未来を創造するため、豊かな教養と「自ら学ぶ」姿勢を涵養し、高い倫理観とともに課題を探究し解決しうる能力をもった高度な専門職業人を養成する。このため、教育の質保証システムの充実、対面・遠隔授業のベストミックスや学修成果の可視化など教育学修環境の整備を推進する。

2. 研究

個々の研究者の知的探求心に基づく学術研究の卓越性を幅広い分野において高めることにより、被引用度の高いジャーナル論文の増加を目指すとともに、特定の研究分野において、世界トップレベルの研究成果を得ることが期待できる研究センター群を形成し、人類や地域社会の直面する諸課題を解決する。

3. 国際化

ジョイント・ディグリープログラム（JDP）をはじめ地域に根ざした国際化を念頭に行う教育研究活動により、グローバル化を実現する。そのために、東海国立大学機構が持つ多様な人材やネットワークを活用し、組織的な支援体制やICTを活用した双方向の交流などを強化することで国際化を推進する。

4. 社会貢献

東海地域の大学、大学共同利用機関、自治体、地元企業等との連携・協働をさらに深め、地域課題の解決をはじめ、教育、行政サービス等の向上による地域のブランド力の増進や産業の競争力向上に資する教育研究活動を推進するとともに、大学発ベンチャーの創出や産学協働拠点の形成を通じて、研究成果の社会実装による新たな価値を創造する。

5. 地域医療連携

岐阜県における唯一の医学部附属病院として、地域医療を支え、住民の健康に寄与する役割を担う。特に、最先端の医療の提供、統合医療情報プラットフォームの構築、国際的に活躍する医療人材の育成などを通じて地域医療を先導し、社会に貢献する。

学生憲章：岐阜大学は学生に何を期待しているか。

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は、皆さんの人生において最も輝いている、それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は、将来の生き方を決める上でとても重要です。自ら進んで学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽くします。皆さんも努力してください。

- 1 本をたくさん読み、学んでいく上での土壌を作ろう。
- 2 文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
- 3 専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
- 4 自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
- 5 国際語である英語をマスターし、十分に意思疎通できる実力をつけよう。
- 6 ICTの活用により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
- 7 長い人生を生きるための体力をつけ、健康を守ろう。

学章デザイン

元岐阜大学教授 坂井範一

1. 岐阜大学の校章は鵜舟と篝火を意味する。
篝火は学問を、舟は人類の幸福を意味するであろう。
2. 陰陽2体の組み合わせは天地自然を意味する。
総ての存在と活動、調和とバランスを意味するであろう。
3. 黒とオレンジ色の組み合わせは意思と情熱を意味する。
また感性の豊かさや品位を意味するであろう。
4. 単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味する。
それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。



岐阜大学ロゴマーク



岐阜大学ロゴマークは、岐阜大学設立60周年を迎えた平成21年、デザインを全国に広く公募した後、学内の教職員および学生の投票によって決定されました。このロゴマークは、岐阜大学学章に内包された豊かな意味と、過去60年間の岐阜大学の営みの蓄積を踏まえ、

- わが国屈指の質の高い高等教育システムの実現（学び）
- 生命、環境科学をはじめとする豊かな自然と人との調和を目指す研究拠点（究め）
- 地域の発展に寄与することによる教育研究活動の充実（貢献する）

これら岐阜の地での豊かな教育研究活動が、日本全体・そして世界へと発信されて行くこと、そして岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐ進むことを祈念してデザインされています。また学章が力強い弓と融合し、岐阜大学の頭文字「G」を形作っています。

東海国立大学機構について

2020年4月の法人統合により、地域貢献を使命とする岐阜大学と世界の研究大学を目指す名古屋大学から構成される国立大学法人東海国立大学機構が誕生しました。教育分野においては、新たな価値を創造して社会課題に対応できる人材を送り出すために、両大学は大学の枠を超えて連携する「アカデミック・セントラル」を設けました。「勇気をもってともに未来をつくる」の共通理念のもと、リベラル・アーツ教育や、地域や企業と連携した教育、数理・データ科学教育など、教育の一層の充実を推進していきます。また、いくつかの授業において両大学の学生が共に参加することや、両大学の図書館からの図書の貸出を受けることが可能です。



東海国立大学機構HP

新入生の皆さんへ

ようこそ、「ワン・キャンパス」岐阜大学へ。

これから皆さんが学生生活を送る岐阜大学は、5学部1学環の様々な専門分野の研究を進めている700名以上の教員、留学生を含む7,000名以上の学部生・大学院生が一つのキャンパス——ワン・キャンパス——に集っています。そのため岐阜大学キャンパスでは、所属学部・学環の教員から専門分野を学ぶだけではなく、他学部・学環の教員から横断的・総合的分野を学ぶことができます。とりわけ1年次より履修する共通教育は、入学した学部・学環以外の先生方の講義を受講できる貴重な機会になっています。

また、仲間との交流を通して、社会で活躍する基盤となる力を身に付ける学びを経験できます。講義やセミナーでの交流に加え、文化系・体育系合わせて約70団体のサークル、40以上の同好会の活動を通して、さまざまな仲間と交流できるのは、まさにワン・キャンパスの大学ならではの経験と言えます。

以下に示す卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、社会に対し岐阜大学の卒業生がどのような力をもった人間であるかをアピールするために公表しているものです。

卒業認定・ 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

岐阜大学は、全ての学部が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開しています。また、岐阜大学は「学び、究め、貢献する」人材を社会に送り出すことを理念・目標に掲げ、以下の基盤的能力及び専門的能力を総合的に身に付けた人に学士の学位を授与します。

- ・豊かな人間性を支える基盤的能力
 - －考える力（総合的判断力）
 - －伝える力（コミュニケーション力）
 - －進める力（自立的行動力）
- ・専門職業人として必要な専門的能力
 - －社会に貢献できる専門的知識・技能
 - －深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方
 - －広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感

教育課程編成・ 実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

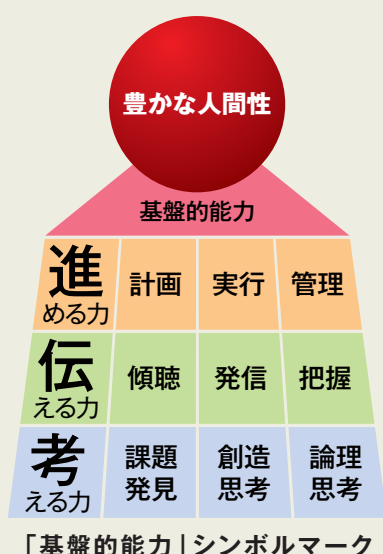
岐阜大学は、基盤的能力及び専門的能力を備えた人材を育成するため、以下の方針に基づいて到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し、点検・評価を通じた不断の改革に取り組みつつ実施します。

- ・豊かな人間性を支える基盤的能力を培う
- ・自らの学習成果を適切に評価し、自主的な学習に責任をもって取り組む態度を培う
- ・人文科学、社会科学、自然科学、岐阜学、スポーツ・健康科学、英語／言語と文化、社会人リテラシー及び数理・データサイエンス・AIの各分野にわたる教養教育を実施し、生涯学習の基礎を培う
- ・専門分野を生かした見方・考え方を培う
- ・社会的責任を果たすことができる倫理観を培う

カリキュラム・ポリシーの中に、「基盤的能力」と「専門的能力」ということばがあります。各学部で伸ばしていく専門的能力の土台となる力が、以下に示す基盤的能力です。

基盤的能力

この表は岐阜大学において育成すべき「基盤的能力」の3つの力、9つの要素の内容と学部等レベルでの達成目標（水準）を表わしています。



3つの力	9つの要素	内容	水準（達成目標） 学部等レベル
進める力 自立的行動力	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	課題解決のプロセスを理解した上で、課題の解決に向けた計画が立案できる
	実行力	目的を設定し他者に働きかけ協同して、確実に実行する力	目的を設定し他者と協同して実行することができる
	管理能力	目的に向かって自身やチーム等の行動や活動をコントロールする力	目的に向かってチームの行動や活動をコントロールできる
伝える力 コミュニケーション力	傾聴力	相手の意見を理解しながら丁寧に聞く力	相手の意見を理解しながら聞くことができる
	発信力	自分の意見を、事例や客観的データ等を用いて聞き手の状況を理解しながらわかりやすく伝える力	客観的なデータを用いて自分の意見をわかりやすく伝えることができる
	状況把握力	自分と周囲の関係を理解し、集団や社会、会話等の場でつづられている文脈を把握する力	自分と周囲の関係を理解し、その場の状況を把握できる
考える力 総合的判断力	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにし準備する力	自ら現状分析し、目的や課題を明らかにできる
	創造的思考力	複数の考えを組み合わせたり、従来の発想を転換し、新しい価値を生み出す力	複数の考えを組み合わせることができ、新しい発想を生み出すことができる
	論理的思考力	物事を分析、統合、比較、関係づけて、筋道を分かりやすくつづける力	物事の一つの対象について、論理立てて考えることができる

私たち岐阜大学では、この基盤的能力を、下から「考える力」、「伝える力」、「進める力」と3層を成し、それぞれ3つの要素によって構成されるものと位置付けています。岐阜大学の授業内容を記したシラバスには、これらの基盤的能力のどの要素を重点的に学ぶ授業であるかを明記してありますので、皆さん自身がどのような力をもった人間を目指していくかの指標となるでしょう。

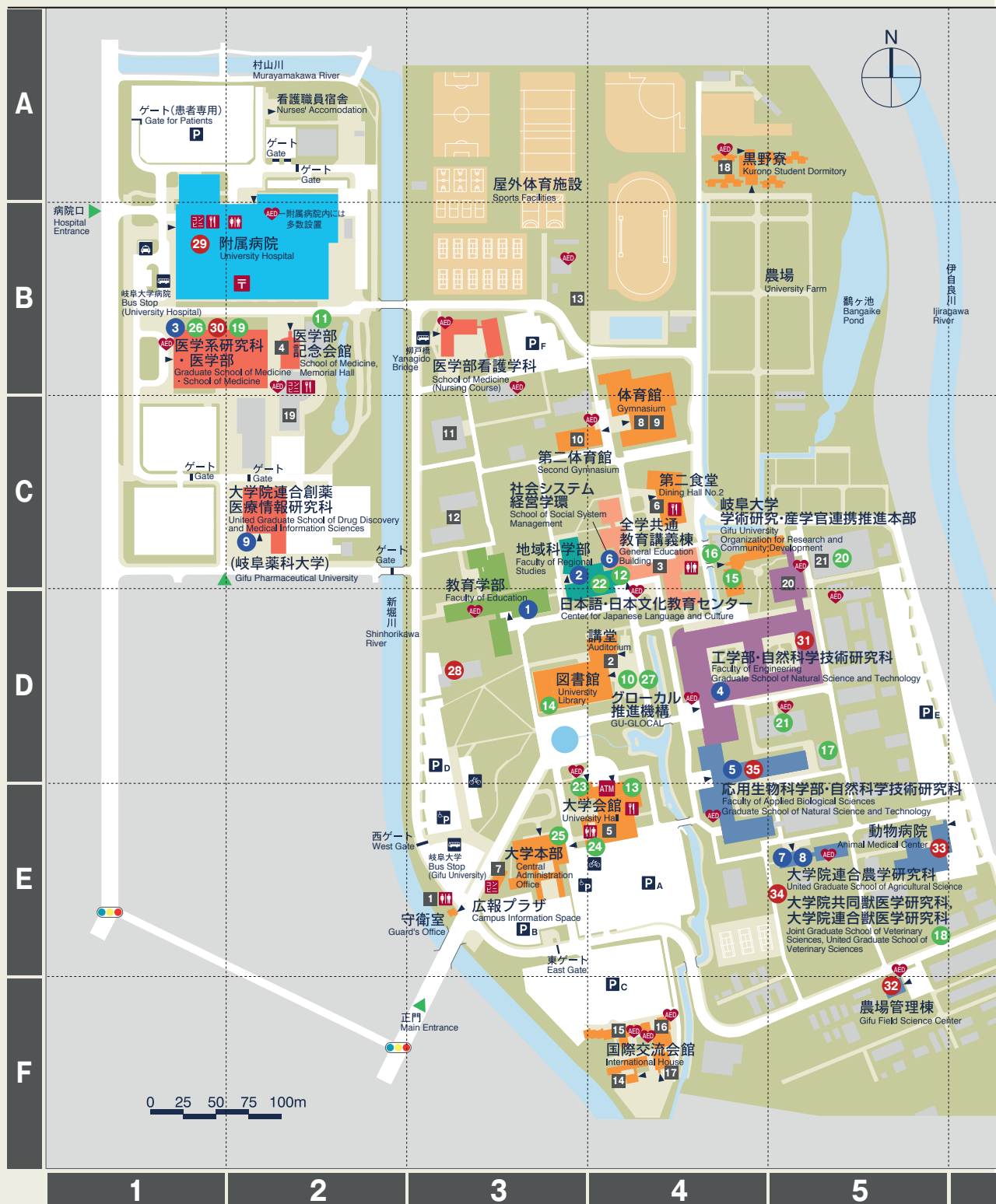
また、正課の授業のほかにも、サークル活動、種々のボランティア活動などの課外活動でこれらの力を培うこともできます。岐阜大学では、このような基盤的能力を可視化するシステムを開発中です。学部で養う専門的能力の基礎となる豊かな人間性の核たる基盤的能力を適切に育んだことは、卒業後も長く社会に示すことが可能になります。

さて、この『CAMPUS GUIDE』という小冊子には、学生生活や大学紹介など学生諸君に必要なことがすべて書かれています。学生生活で気を付けなければならないこと、大学に入学してまず学ぶ全学共通教育のこと、そして皆さんの居場所となる施設の紹介、困ったときに学業を続けるための奨学金などの支援、そして将来の就職支援のことに加えて、課外活動や留学の情報もあります。一度通読しておくことをお勧めします。また、後半部分には、学則等の規則も掲載されています。進学や卒業の際に守るべきルールは、機会あるごとに確認することも肝要です。

さらに、困った時には一人で悩まずに誰かに相談する方法も記載しています。そして、なによりも忘れないでほしいのは、この『CAMPUS GUIDE』の向こうに、皆さんを全力で応援する岐阜大学の教職員がいることです。各学部・学環等の教職員はキャンパスライフヘルパーとして皆さんの相談に応じます。

岐阜大学での4年間あるいは6年間の学生生活が、あなたの人生でもっとも有意義な一時期であったと言えるよう、適切な学力を付けていくとともに学生生活を楽しんでください。

キャンパスMAP



学部・大学院

- D-3 ① 教育学部・教育学研究科
C-3 ② 地域科学部
B-1 ③ 医学系研究科・医学部
D-4 ④ 工学部・自然科学技術研究科
D-4 ⑤ 応用生物科学部・自然科学技術研究科
C-4 ⑥ 社会システム経営学環
E-5 ⑦ 大学院連合農学研究科
E-5 ⑧ 大学院共同獣医学研究科，大学院連合獣医学研究科
C-2 ⑨ 連合創薬医療情報研究科

図書館

- D-4 ⑩ 図書館
B-2 ⑪ 医学図書館

教育推進・学生支援機構

- C-4 ⑫ 全学共通教育事務室
E-4 ⑬ キャリア・就職支援センター（就職支援室）
D-3 ⑭ Sky ACADEMIC CORE

岐阜大学学術研究・産学官連携推進本部

- C-4 ⑮ 岐阜大学学術研究・産学官連携推進本部

地域協学センター

- C-4 ⑯ 地域協学センター

研究施設

- D-5 ⑰ 高等研究院環境社会共生体研究センター

共同教育研究支援施設等

- E-5 ⑱ 高等研究院研究基盤センター（ゲノム研究分野）
B-2 ⑲ 高等研究院研究基盤センター（嫌気性菌研究分野）
C-5 ⑳ 高等研究院研究基盤センター（機器分析分野）
D-5 ㉑ 情報館
C-4 ㉒ グローカル推進機構日本語・日本文化教育センター
E-3 ㉓ 保健管理センター
E-4 ㉔ ウェルネスルーム

- E-3 ㉕ 学務部（教務課，学生支援課，入試課）

全国共同利用施設

- B-1 ㉖ 医学教育開発研究センター（MEDC）

グローバル推進機構（GU-GLOCAL）

- D-4 ㉗ グローカル推進機構（GU-GLOCAL）

学部附属の教育研究施設（主なもの）

- 教育学部 D-3 ㉘ 附属特別支援教育センター
医学部 B-1 ㉙ 附属病院
医学部 B-1 ㉚ 附属地域医療医学センター
工学部 D-5 ㉛ 附属インフラマネジメント技術研究センター
応用生物科学部 F-5 ㉜ 附属岐阜フィールド科学教育研究センター
応用生物科学部 E-5 ㉝ 附属動物病院
応用生物科学部 E-5 ㉞ 附属野生動物管理学研究センター
応用生物科学部 D-4 ㉟ 附属共同獣医学教育開発推進センター

建物

- E-3 ① 守衛室
D-4 ② 講堂
C-4 ③ 全学共通教育講義棟
B-2 ④ 医学部記念会館
E-4 ⑤ 大会館
C-4 ⑥ 第二食堂
E-3 ⑦ コンビニエンスストア
C-4 ⑧ 体育館
C-4 ⑨ 武道館
C-3 ⑩ 第二体育館
C-3 ⑪ 音楽棟
C-3 ⑫ 美術・技術棟
B-3 ⑬ 宇宙電波観測所
F-4 ⑭ 国際交流会館A-棟
F-4 ⑮ 国際交流会館B-棟
F-4 ⑯ 国際交流会館C-棟
F-4 ⑰ 柳戸会館
A-4 ⑱ 黒野寮
C-2 ⑲ 福利厚生棟
C-5 ㉑ 総合研究棟Ⅰ
C-5 ㉒ 総合研究棟Ⅱ

- バス乗り場
タクシー乗り場
身障者駐車場
P A～F 駐車場
駐輪場

- トイレ 郵便局
食堂 ATM
売店 AED

▲ 建物入口

Contents

8 知っておこう キャンパスルール

- 10 通学におけるルールとマナー
- 12 キャンパスは敷地内全面禁煙
- 12 インターネットを利用する時の注意事項
- 13 著作権について
- 14 悪徳商法（マルチ商法、デパート商法、クーリング・オフ制度）
- 16 ハラスメントのない大学にするために
- 17 クリーンキャンパス
- 17 環境対策の取り組み

18 学生生活スタートアップ

- 20 大学からの周知・連絡方法
- 20 表彰・懲戒
- 21 SA（Student Assistant）制度について
- 21 学内の業務に従事する場合の注意事項
- 22 授業料の納入方法
- 22 個人情報の取扱い
- 23 Webシステム・サイト一覧

24 こんな時はどうする？

- 26 学生証
- 26 休学・復学・退学・除籍
- 26 現住所の変更・届出
- 27 証明書自動発行機
- 27 在学証明書・学割証の発行
- 28 通学定期乗車券発行証の交付
- 28 事故等の届出
- 28 掲示・集会、印刷物の発行・配布
- 28 施設並びに物品の使用
- 29 紛失・盗難等の届出
- 29 予防接種
- 29 感染症予防について

30 授業のこと， 履修のながれ

- 32 教養教育を履修する学生のみなさんへ
- 32 単位制度
- 33 全学共通教育科目
- 34 連携開設科目
- 34 次世代地域リーダー育成プログラム
- 35 修得すべき単位数
- 36 Webシラバス
- 36 気象警報発表時及び交通障害時における授業の取扱いについて
- 38 単位認定
- 39 履修に関する基礎用語

40 キャリア・就職支援 のこと

- 42 キャリア・学生支援センター（就職支援室）
- 43 就職に関連する情報
- 43 就職活動支援行事

44 学生生活を 豊かにするために

- 46 課外活動
- 46 ボランティア活動
- 47 学生寮（黒野寮）
- 47 アルバイト・住まいの紹介
- 48 授業料の減免・納付猶予
- 48 奨学金
- 49 大学生のための傷害保険

50 岐阜大学の 国際交流について知ろう

- 52 留学のタイプ
- 52 留学までのステップ（語学力・経費関係は除く）
- 52 サマースクール
- 53 交換留学
- 53 学術交流協定大学一覧
- 54 その他の一般的な留学
- 54 日本語・日本文化教育センター
- 55 留学生に対するチューター制度
- 55 外国人留学生在が入学後に日本でする必要な手続
- 55 留学支援室
- 55 国際交流会館（A・B棟）

56 大学の施設を知ろう

- 58 図書館
- 59 医学図書館
- 60 情報館
- 61 自習室として利用できる施設
- 62 保健管理センター
（健康相談，障害学生支援など）
- 66 大学会館
- 67 コンビニ・広報プラザ
- 68 第2食堂・PECO「ペコ」
- 68 医学部教育・福利棟

69 岐阜大学学則等

80 学年暦（令和6年度）

82 令和6年度 授業時間

83 岐阜大学愛唱歌

84 大規模災害が発生したら

※本冊子は令和5年度中に作成したため，令和6年度の組織改組等を十分に反映できていない可能性があります。
HP等で最新の情報を確認してください。